

【別紙２】提案書作成要領

三次版学校ＩＣＴ活用事業（授業支援アプリ利用業務）提案書作成要領

提案書は、下記１～５の順に、簡潔且つ具体的に作成すること。その際、基本仕様書を上回る機能や実施体制があれば、積極的な提案を求める。

なお、提案書の様式は、Ａ４版横、上とじ、１０ページ以内（表紙や目次については、ページ数に含めない。）とし、提案書中には、社名・担当者名など、提案者が特定できる内容は一切記載しないこと。

提案書の構成

１ 会社概要及び実績

- 会社概要及び他の自治体での受注実績

２ 基本方針

- 本事業を実施する上での基本方針

３ 機能及び教材

(1) 授業支援ツール

- 児童生徒一人一人に応じた学習活動や課題の提供機能について
- 同時編集機能について
- 児童生徒一人一人の意見を可視化する機能について
- 児童生徒自ら多様な意見や情報を収集し、整理・分析、まとめ・表現するなど、協働的な学びの充実に向けた機能について
- 授業者が、児童生徒の学習状況をリアルタイムに把握したり、学習成果への評価（フィードバック）を行ったり等、個別の支援や指導の充実につなげるための機能について
- 学習内容を蓄積し、振り返るためのフォルダ等の機能について

(2) デジタルドリル

- 収録教材及び本市採択教科書への対応
- 収録されている問題の質（基礎問題から応用問題、入試過去問題等）や量（収録問題数）について
- 児童生徒一人一人の学習状況や習熟度に応じて学習していくための機能について
- 児童生徒一人一人の学習状況の把握や見取りについて
- 自動採点機能について
- 児童生徒一人一人が自主的に学習に取り組もうとする意欲を喚起するための工夫

(3) 教員の働き方改革の視点について

- 授業準備、教材、課題作成に係る教員の負担軽減について

- 作成した教材資料の学校間連携，共有等の機能について
- システム導入に向けた研修サポートや運用サポートについて
- 学校訪問によるサポート体制の有無について

4 操作性

- 操作メニューやボタン配置，視認性など，多様な児童生徒の視点に立ったシステム開発の工夫について

5 実施体制

- システム導入後の効果検証や分析結果の報告について
- 機密保持や個人情報の取り扱いについて
- セキュリティ対策，障害や事故発生時の対応について